

中国栗新品種の栽培方法について

1 主要な管理内容について

中国栗3品種（岡山1号、2号、3号）の生育ステージと主要管理は表に示すとおりです。

岡山1号は、岡山2・3号と比べ、果実の成熟期が早く、収穫期は10月上旬～中旬です。逆に、岡山2・3号は、収穫期が10月中旬～下旬と、岡山1号に比べ遅い傾向にあります。

収穫を除く主要管理については、当該3品種とも同じですが、粗放栽培が可能のため、特に整枝・せん定を行わなくても、安定した収量を期待できます。

表 生育ステージと主要管理

項 目	月												
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
生育ステージ	休眠期			発芽期			開花期	果実肥大・成熟期(岡山1号)			果実肥大・成熟期(岡山2・3号)		休眠期
主要管理	樹体	整枝・せん定	苗木定植 (寒冷地)		接木		新梢 摘み (支柱)	岡山1号 収穫			岡山2・3号 収穫		整枝・せん定 苗木の定植 (暖地)
	土壌						追肥			礼肥			基肥
	その他					草刈 (I)	草刈 (II)			草刈 (III)			

2 品種の選定について

クリの場合、自家受粉では収量が落ちますので、品種の選定に当たっては、2品種以上（例：岡山1号と岡山2・3号）を混植するようにしてください。

また、ニホングリと混植しますと、渋皮が剥けにくくなりますので、中国栗のみによる混植をお勧めします。

3 苗木の植栽方法について（苗木購入後）

定植2～3ヶ月前に植え付け位置として直径1.8～2.0mの範囲を高さ20～30cmに盛土します。そして、深植えせず、ここに植え付けします（図）。

植栽は、県南部では11月下旬～12月下旬、県北部では3月上旬～中旬です。

植栽密度は、斜面の傾斜が15°未満の場所では、10a当たり40本（5m×5m）か35本（4m×7m）が一般的です。

苗木の植栽時には、接ぎ木部位から30～60cmのところを切り戻しを行ってください。

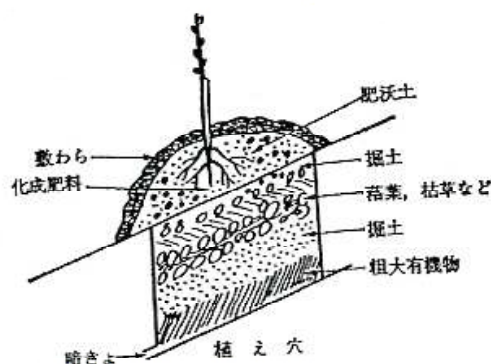


図 植栽の模式図

4 その他

結実は、苗木の植栽後、3年目以降です。

（岡山県農林水産総合センター森林研究所 作成）